



発行 東白川村議会
編集 東白川村議会編集委員会
住所 岐阜県加茂郡東白川村
神土 548 番地
電話 0574 - 78 - 3111

第三回定例会を開催

平成十七年度一般会計他五会計決算を全会一致で認定

第三回東白川村議会定例会は、九月十九日に開会し、一般質問四名、条例改正等七件、一般会計補正予算（補正後の総額十九億六千七百九十九千円）他特別会計補正予算二件、平成十七年度一般会計他特別会計五件の決算が上程され、二十二日すべての議案が可決認定承認されました。

平成十七年度の主な事業

総務課

東白川村CATVの完成
第四次総合計画の策定

住民福祉課

保育園の統廃合
介護及び支援サービス

産業振興課

中山間地域直接支払制度事業
茶業生産団体の支援
里山アカデミーの設立
トマト農家雪害の支援

建設環境課

災害復旧事業
地籍調査事業
合併浄化槽の設置
簡易水道の運営

教育委員会

中学校（国際交流ふれあい事業）
小学校（マーチングバンド招
（ 聘 ）
青少年育成活動推進
歌舞伎保存会備品整備補助

平成十七年度決算は、三位一体改革の二年目であり、合併の破綻により、地域の活性化と生

平成17年度一般会計・特別会計歳入歳出決算総括表

区 分		歳入合計	歳出合計	差 引 額
会 計				
一 般 会 計		2,654,098,209	2,508,207,160	145,891,049
特 別 会 計		1,139,664,804	1,069,497,826	70,166,978
内 訳	国民健康保険特別会計	363,365,535	324,229,605	39,135,930
	老人保健特別会計	401,823,564	387,315,327	14,508,237
	介護保険特別会計	228,253,715	221,167,421	7,086,294
	簡易水道特別会計	129,147,287	123,037,093	6,110,194
	下水道特別会計	17,074,703	13,748,380	3,326,323
合 計		3,793,763,013	3,577,704,986	216,058,027

き残りをかけ行財政改革の実施に力をいれました。しかし、三月八日の現職村長のご逝去というかつてない事態、併せて議会も解散し、村長、村議会議員が一時不在という非常事態になった一年となりました。

一般会計補正予算の主な内容

保健衛生費

病院会計への補助

農地費

中山間地域総合整備負担金
二百三十五万二千円

生活道整備補助金

六十九万七千円

林業費

景観整備委託料
二十万七千円

松くい虫駆除事業

四十八万三千円

村有林管理委託料

二十三万円

道路災害復旧費

千六百十三万五千円

注：この道路災害復旧費は、今年の厳冬により道路舗装が凍み割れた箇所を、国の激甚災害指定を受けたものです。

岐阜県の裏金問題について

議会から岐阜県知事・岐阜県議会議長へ意見書を提出

不正資金「裏金」

問題に関する意見書

岐阜県の不正な経理による巨額な裏金問題は、県民の信頼を失う重大な問題であります。

第三者による「プール資金問題検討委員会」での調査、検証によれば、問題を深刻化させた旧幹部の責任は極めて重く、現職職員に関しても、個々の態様に応じて、しかるべき処分が相

当と報告され、再発防止に関する提言がなされています。

県及び県議会においては、調

査委員会等により徹底した原因究明と、責任の所在を明確にされ、二度とこのような問題が起らないための再発防止策を講ずることを要望します。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十八年九月二十二日提出

提出先 岐阜県知事・

岐阜県議会議長 宛

実質公債費比率 二十六・五％県下ワースト二位

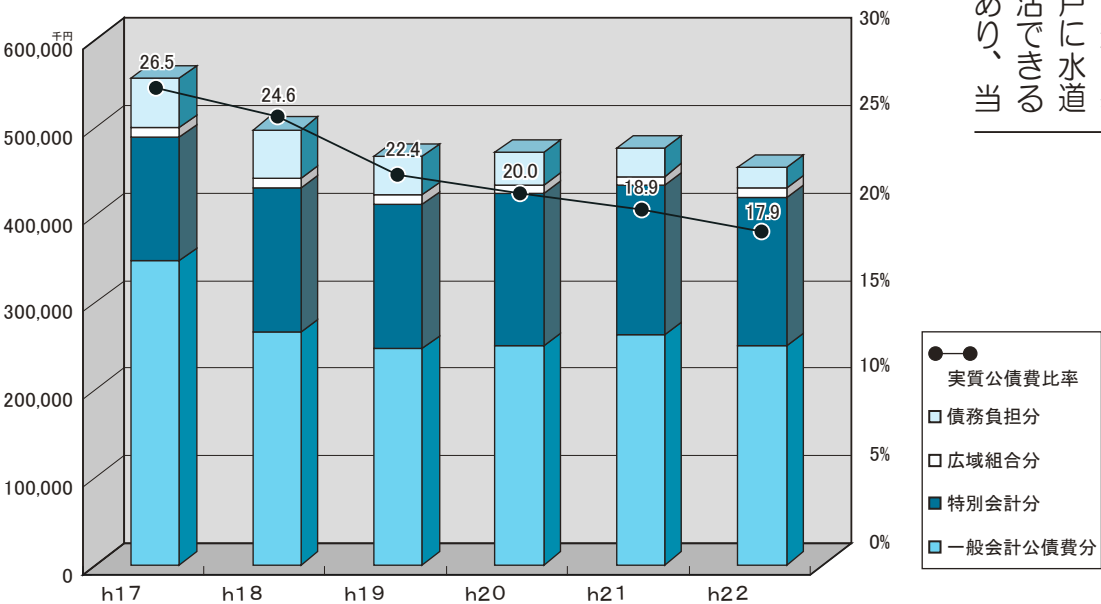
公債費負担適正化計画を執行し、平成二十二年には十八％以下に改善

今年度より導入されました、借入償還額の比率を示す本村の実質公債費比率は、八月二十九日に二十六・五％と県下ワースト一位と公表されました。この新しい指標は、十八％以上になると、自由に起債（借金）の発行ができず、公債費負担適正化計画を策定し、県の許可を受けることとなります。

この実質公債費比率が、簡易水道建設事業の借金が主な原因であります。しかし、この簡易水道建設は、平成四年並びに平成八年の加入意向調査に基づき実施され、村内全戸に水道が整備され、快適な生活できるようにになった見返りであり、当然の結果です。

市町村合併が破綻した今、住民の皆さんと議会と行政が、しばらくの間辛抱し、その間、知恵を出し合って乗り切ることが必要です。

村の借金と実質公債費比率の推移



一般質問（四人の議員が村政の課題を問う）

安倍 徹議員

●村の財政状況と今後の
取り組みについて

県は、新しい指標「実質公債比率」を八月二十九日発表され、当村を含む、一市一村が、基準の十八割を超え、更に厳しい制約を受けるとのことです。国の行財政改革により、やむなく財政の縮小を図り、一層の試練が求められると予想されますので、次の三点について伺います。

- 一、具体的に何が新しく計上されているのか
- 二、自主財源が少なく、不安な交付税収入のなか、どのような方針で改善されるのか
- 三、様々な計画事業の取捨選択と総合計画の見直しは

答弁（安江村長）

実質公債費比率の計算方法は、今までの一般会計だけの計算方法と違い、特別会計や一部事務組合等の公債費分を加えたものです。

総務省との懇談会では、地域格差の是正ということで、極端な交付税削減は、しないようにするという回答ではありましたが、多少の目減りは覚悟しています。

第四次総合計画の実施については、実質公債費比率が十八割を超えない形で、議会の皆さんと相談しながら進めたいと考えています。

安江利英議員

●現在の村の借金は
●この四年間の財政について
●役場職員組合について

村には、いくらかの借金があり、今後何年ぐらいで正常になるのか伺います。

先日提示されました、普通会計長期財政計画によりますと、人件費がこの先四年間で五億一千四百万円から四億三千五百万円に削減される予定ですが、可能な数字でしょうか。

現在、マスコミで問題となっている岐阜県庁裏金問題のようなことが、役所の体質として、本村の役場には、あるかないか伺います。

答弁（安江村長）

平成十七年度末現在、地方債四十八億七千七百十三万円、債務負担行為五億六千二百二十八万円どちらも年々減少しています。

人件費の削減は、職員の定数管理により可能であると考えています。勧奨退職等があれば、多少の補充はやむを得ないと思っています。

本村では、岐阜県のような職員組合はありません。必要な経費は、全て予算計上し、ガラス張りとなっています。ご指摘のようなことはありません。

熊澤光介議員

●村政運営にあたり
●村長の考えは

村長就任時、前村長が計画した方向性を尊重し、これを継承することを施政方針とされまして、今、どのような理念を抱いて、村民の皆さんへ理解を求めていくのか伺います。

答弁（安江村長）

村長として務めさせていただき半年近くなりました。その間、多くの村民の皆さんからいろいろなご意見をいただきました。このことは、いずれも村を思っている事ばかりと、非常にありがたく思っています。特に、今まで先輩が作り上げてくれたものを維持しながら借金を減らしていきたいと考えています。借金を減らすため、職員を半分にするようなことは、当然できませんので、行政のスリム化と費用対効果を考えた施設の建設と利用を加味し大切な事業は、進めていきたいと考えています。



CATVのスタジオ

ます。その中で、CATV事業は、来年で一年を迎えます。たくさんの方々が利用されていますので、村民の皆さんが潤うような、知恵と汗をお願いしたいと考えています。

今井保都議員

●母子センターについて

全国的に少子化が問題視されている昨今ですが、産婦人科医の減少に伴い、安心して子供を産める環境が失われつつありますが、本村ではありがたいことに助産師さんの多大な努力と下呂病院の協力のもと、昭和四十三年より母子センターが存続されています。今後も村内のみにかわらず、地域の大切な医療機関として維持していただけるようお願いしていますが、今後の見通しについて伺います。

答弁（安江村長）

少子化と医師不足により、存続が厳しい状況ではあります。が、来年度始まる前に結論を出したいと考えています。私の気持ちとしては、母子センターは続けていきたいと思っています。

委員会視察研修レポート

総務常任委員会視察研修を十月三日、四日の二日間、白川村のトヨタ白川郷自然学校と石川県珠洲市の子育て支援対策事業について研修を行いました。第一日目のトヨタ白川郷自然学校は、昨年四月に開校し、トヨタ自動車、白川村、日本環境フォーラムなどの三者で設立したNPO法人白川郷自然共生フォーラム

ムによって運営され、一年間を通じて自然の大切さ、地域に根ざした環境教育を広く展開することを目的に、数多くのプログラムが実施され、青少年から大人まで大変満足度のいく内容の事であった。

二日目の研修先、石川県珠洲市での子育て支援事業は、次世代育成支援対策推進法に基づき行動計画を、平成十七年度から五年間の計画で、子育て支援はもとより、保健対策、家庭での子育て、子供達の為の施策が実施されていました。特に小学校の空き教室を利用しての放課後児童クラブが、五箇所の小学校で実施され、学校側でも、又、

議員の一言

安倍政権が誕生し、再チャレンジ支援策と、イノベーションを強調され、改革無くして成長無しの小泉劇場から、成長無くして財政再建の考えの中に、格差、不平等が生じている社会に対し、是正の政策が地方にどのような支援策が提示されるのか、財政厳しい本村にとって、期待をするところです。

六十五パーセントの指示を得て選出された安倍政権、落ち着いたまもなく、北朝鮮の核実験、数ヶ月前のミサイル発射実験に続いての事だけに、一千キロに位置する日本は、世界で唯一の被爆国であり、恐怖を感じます。制裁を強める事で、解決するのだろうか、危険に脅かされるのは、隣国である中国、韓国、日本となります。アジアに平和と安全の訪れることを、外交政策に慎重かつ適正な対応を安倍政権に期待するところです。

岐阜県庁の裏金問題、解決の方向性が見え始めているように

共働きの家庭から大変喜ばれているとのことであった。今回の視察研修で学んだことを、本村のNPO法人及び子育て支援に反映できたらと思いい研修の報告とします。（委員長：安江祐策）



トヨタ白川郷自然学校

す。村議会では、九月の定例会で、この問題に対し意見書を提出しました。また、県議会定例会最終日には、OB返還決議、県政の信頼回復を求める意見書が、議決されました。

このような問題は、本村ではありませんが、今後とも住民の声を村政に反映し、行政の監視すべき議会議員の一人として努力を惜しまない所存であります。

（安江 浩）

●次の定例会

次回の定例会は、十二月十五日（金）の予定です。詳しいことは、議会事務局まで。

議会放映について

議会では、広く村民の皆様に関心を持って頂くため、東白川村CATVにて、本議会一般質問の模様を放映しています。今後とも議会に対し、ご意見、ご要望をお願いします。